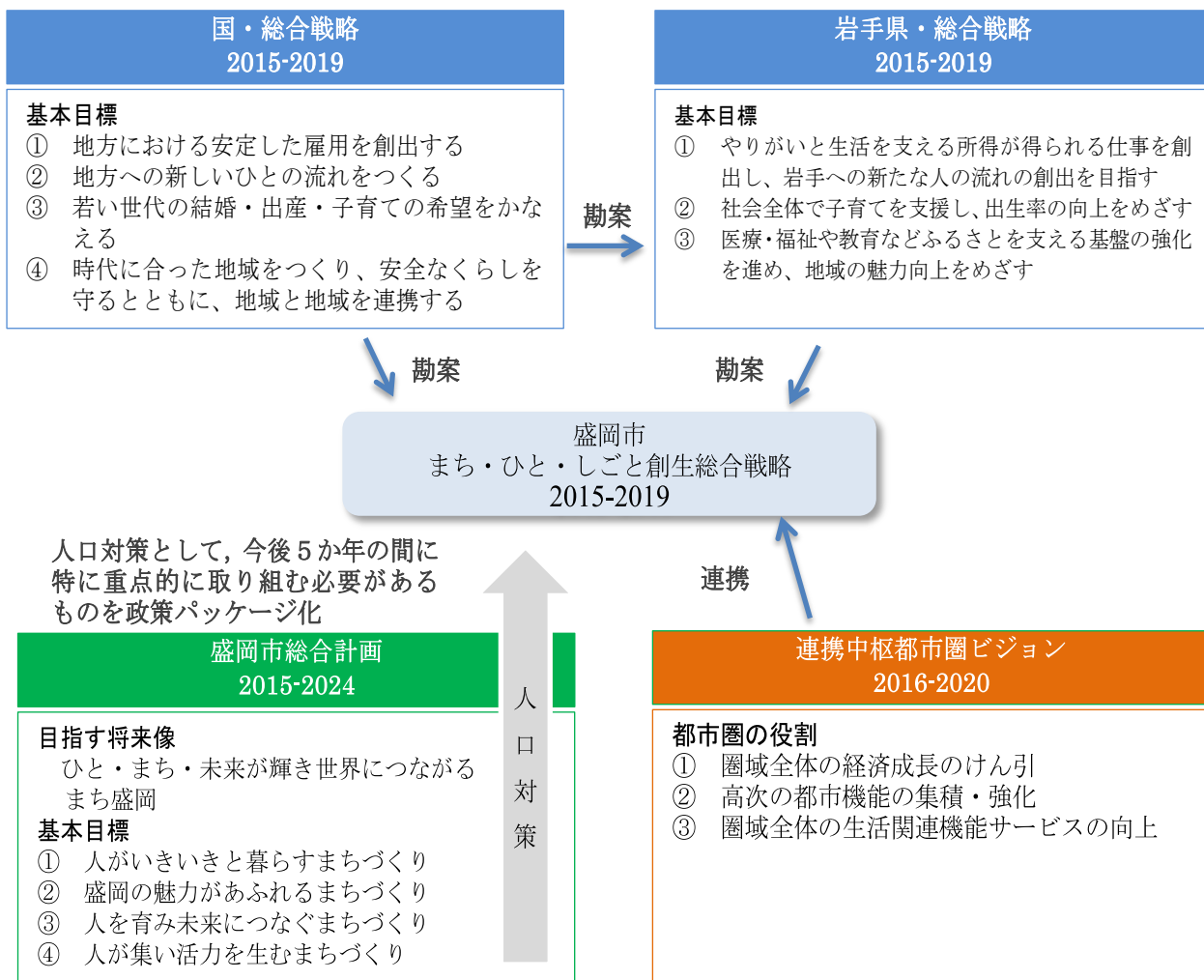


盛岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略 概要版

位置付け



基本方針

共につくる「子どもと子育てにやさしいまち盛岡」

本市の人口減少が進む要因は、社会動態より自然動態による影響が大きく、人口減少を克服し、長期的に人口を安定させるためには、まずもって出生数を維持・増加させる必要があります。

しかしながら、出生数の維持・増加の効果が現れるまでには20～30年単位の期間を要することから、中期的には、若者の地元定着や移住・定住の促進などにより社会動態をプラスにすることで、人口を維持することが必要です。若者の地元定着は、自然動態へもプラスの効果をもたらします。

基本目標と基本姿勢

基本目標

- 1 切れ目のない結婚・出産・子育て支援
- 2 若者・女性がやりがいと魅力を感じられるしごとの創出
- 3 東北の中核都市としての魅力・求心力の向上

基本姿勢

- 1 強みを生かした優れたプロジェクトの推進と情報発信
- 2 広域連携の推進による活力ある社会経済の維持
- 3 市民協働による、まち・ひと・しごとの創生
- 4 P D C A のマネジメントサイクルによる進行管理

8つの戦略

基本目標 01 切れ目のない結婚・出産・子育て支援

- ☞ 出生数〔人〕 2,476→2,476
- ☞ 婚姻件数〔件〕 1,527 →1,527

戦略 1

結婚の希望に応える支援

◇結婚マッチングのシステム構築・運用 ◇ライフデザインを描けるようにするための情報提供・支援 ◇結婚を取り持つ役割を担う人材の養成、ネットワーク化

戦略 2

安心して子どもを産み育てられる環境整備

◇子ども・子育て支援事業計画の確実な実施 ◇多様な保育ニーズに対応した支援 ◇地域の拠点となる子どもの居場所づくりと環境整備 ◇切れ目のない健診体制の提供 ◇乳児家庭全戸訪問事業の充実 ◇「(仮称)子育て世代包括支援センター」の設置 ◇経済的負担の緩和 ◇地域における子ども・子育て支援の促進 ◇子どもを安心して教育させるための環境の構築

戦略 3

ワーク・ライフ・バランスの推進

◇企業、国、県、関係団体との連携によるワーク・ライフ・バランスの推進 ◇男性の家事・育児への参画を促す取組の推進 ◇人材養成講座の実施や優良な取組に対する表彰制度の導入

基本目標 02 若者・女性がやりがいと魅力を感じられるしごとの創出

- ☞ 就職を希望する高校3年生のうち県内就職を希望する者の割合〔%〕 66.3 → 70.0
- ☞ 大学卒業生の地元就職率〔%〕 45 → 55
- ☞ 雇用保険適用事業所数〔社〕 8,356 → 8,700

戦略 4

地域経済の好循環の促進

◇盛岡広域圏域内を「人・お金・モノ」が活発に循環する取組の推進 ◇企業誘致の推進 ◇魅力ある個店や商店街づくりの支援 ◇地場産業の競争力強化 ◇国際リニアコライダー誘致 ◇新規就農に向けた環境整備 ◇森林資源の活用促進

戦略 5

地域経済を担う人材・企業の育成

◇インキュベーション施設を生かした起業、新技術・新製品の支援 ◇専門人材の確保、事業後継者の確保 ◇伝統工芸品の販路開拓、後継者育成などの支援

戦略 6

地元企業への就職の促進

◇新規学卒者を中心とした企業と就職希望者の面談会の開催などによる地元企業への就職促進 ◇岩手大学等との連携による学卒者の地元就職率の向上に向けた取組の強化

基本目標 03 東北の中核都市としての魅力・求心力の向上

- ☞ 20歳から39歳までの人口移動数〔人〕 △107 → 0
- ☞ 観光客入込数〔万人回〕 497 → 500

戦略 7

盛岡ファン・交流人口の増加

◇多様な手段による観光情報の発信強化、祭り・イベントの充実 ◇歴史まち並みを生かした観光地づくり、M I C E 誘致など ◇国際観光の推進 ◇盛岡ファン・コミュニティの活動支援

戦略 8

地元への愛着の形成、移住・定住の促進

◇U I J ターンの情報発信及び相談体制の強化 ◇「地域おこし協力隊」の活用検討 ◇子どもの愛郷心を醸成する機会の創出や地域コミュニティの支え合いなどの促進